

令和5年度庄内町スポーツ推進審議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年2月13日(火)午後1時25分～午後3時10分
 - 2 開催場所 庄内町役場B棟会議室1
 - 3 出席者 齋藤正明、富樫 希江、齋藤 禎、加藤則代、佐藤博文、齋藤雅志、金子清志
 - 4 欠席者 佐藤義徳、佐藤正美
 - 5 事務局 樋渡社会教育課長、齋藤社会教育課主査兼社会教育係長、林社会教育係主任
-

1 開 会

2 委嘱状交付

3 挨拶 教育長

4 会長及び職務代理者の選任 会長：佐藤正美 委員 職務代理者：齋藤雅志 委員

5 会長挨拶

6 議事録署名委員の氏名 齋藤正明 委員 猪又義則 委員

7 報 告

(1) 令和5年度事業実施状況について

資料に基づき、事務局説明

【委員】今年度、まちづくりセンターで2回モルック大会が開催されたが、スポーツ推進委員だけでなくコメっちに職員の派遣申請があった。スポーツ推進委員が参加しているまちづくりセンターの事業も町で把握しておいた方がいい。休日のコメっちの派遣については、人数制限をかけた方がいいか現在検討中である。

【事務局】まちづくりセンターの事業日程が事前にわかっているならば、スポーツ推進委員の調整も可能である。

(2) 庄内町立谷沢体育館及びグラウンド並びに庄内町清川体育館及びグラウンドの指定管理について

資料に基づき、事務局説明

意見・質問なし

(3) 庄内町扇松野グラウンドの体育施設からの削除について

事務局説明

【職務代理者】今後はどこの管理となるのか。

【事務局】普通財産となり、総務課管轄となる。

8 協 議

(1) 令和6年度庄内町教育委員会の重点と視座(案)について

資料に基づき、事務局説明
質問、意見なし。

(2) 令和6年度庄内町スポーツ協会補助金について

事務局説明
質問、意見なし。

(3) 庄内町スポーツ推進計画の進捗状況について

資料に基づき、事務局説明

【委員】清川と立谷沢の体育館の稼働率が低下しているが、人が集まるように働きかけ、わざわざ余目まで行かなくても集まれる事業を実施できればいい。

【委員】集落の公民館へコメっち職員の派遣依頼は立川地区の方が多く状況となっている。体育施設の稼働率には反映されないが、体を動かしている人は多い。来年度、100歳体操を中心とした教室の依頼が22集落からきているが、その半分近くが立川地区となっている。

【委員】コメっちでは、体育センターの稼働率を上げるため事業を新たに行ってきたが、利用拡大のために2階部分にトレーニング器機を置けば利用する人もいるのではないかと考えている。

【委員】昨年度、3名が初級障がい者スポーツ指導員の資格を取得し活動しているが、資格の更新に毎年3,800円が必要なため、助成の要望をしたい。

去年、熱中症警報が発令された場合、活動を行わないとなっているが、危険指数を示す警報が鳴っても継続して利用している団体が多い。今後の暑さ対策が課題である。

【事務局】資格取得者に対する助成の件は、一度調べる。

【職務代理者】モルック大会を今後町民体育祭に繋げていきたいとのことであるが、町民体育祭はどのようなスタイルのなるのか。

【事務局】具体的なことは、まだ確定していないようだ。

(4) 庄内町新武道館（仮称）整備基本計画（案）について

資料に基づき、事務局説明

【委員】前回の答申では、シャワールームは不要としたが、暑さ対策としてもシャワールームがあればいい設備ではなく、なくてはならない設備になってきた。総合体育館では、今年度8ヵ月間で106回の利用があった。男性2/3、女性1/3という状況である。

【事務局】計画を見直すにあたり、武道館を利用している団体の方々と話し合いとをしてきたが、利用者からシャワーはいらないとの意見があったこともあり、設置は難しい。

【委員】平面図で用具室が2つに分かれているが、必ず用具庫が足りなくなるので、用具庫を1つにして入口を広くとってもらいたい。

【事務局】今後、基本設計を含めて実施設計となるので、機能的にどのようにするのかいいが設計者が決まったら相談しながら進めていきたい。

【委員】剣道場の床は弾力性のある床になっているが、どのような床となる予定か。

【事務局】剣道場は、普通の体育館とは違う弾力性のある、毎日練習しても膝・かかとを痛めない仕様にする予定である。

【委員】健康体操、ヨガ、エアロビクスなど靴を使わなければ利用可能か。

【事務局】可能。

(4) その他

【委員】町にスポーツ振興基金があるが、スポーツ協会、スポーツ少年団、中学校教育振興会で選手派遣費に充てることはできないか。コーチや指導者全員の派遣費用が出るわけではなく、保護者負担、自費がほとんどであるため、活用できないか。

【事務局】スポーツ基金として誰もが納得のいく活用を検討していく。

9 その他

特になし

10 閉 会